

Ⅱ きらきらと輝く人が育つまち

安らぎと豊かな人間関係、生きる力を育む、家庭教育

教育相談事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

○教育相談事業

3,403万円

児童生徒の心の悩みや不安などをじっくり聞き、その問題解決にあたるため、南風原町教育相談支援センター(心の教室)を設置し、青少年教育相談員を配置します。

また、児童生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることができるよう第三者的な存在として各学校に心の教室相談員(6名)を配置し、学校や関係機関と連携をとりながら、不登校や児童虐待など、児童生徒を取り巻く問題に対して速やかに対応します。

特別な支援を要する児童生徒については、特別支援教育相談員を配置し、就学相談等の保護者の支援に取り組みます。

さらに、学校に作業療法士を派遣し、児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組むとともに、中学校には、不登校の生徒の支援として適応指導教室、自立支援教室を設置し学習支援員を配置します。

主な経費	教育相談員・学習支援員報酬等	1,919万円
	心の教室相談員謝礼金	913万円
	作業療法士派遣・Q-Uテスト委託料	532万円
	消耗品費・電話代	39万円

各相談員へのご相談についてはこちらまで

○南風原町教育相談支援センター

各 相 談 員 青少年教育相談員、心の教室相談員、特別支援教育相談員
場 所 南風原町総合保健福祉防災センター(ちむぐる館)内
電 話 番 号 098-889-0501

※ お気軽にご相談ください。

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

子ども平和学習交流事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

○子ども平和学習交流事業

144万円

町内の子どもたちが、戦争と平和、差別と人権について学習を深めるための事業です。町内小学校6年生8人を対象とします。仲間とともに学習を深めながら、平和や人権をめぐる事柄への関心を高め、視野を広げることをねらいとします。

経費は、主に県外研修の旅費や宿泊費などに使われます。数回の座学と体験者講話、県内での研修を経て、県外研修を行います。令和7年度の県外研修では広島県と京都府の資料館見学や戦跡めぐり、現地の方々との交流などを行います。そして、学んだことを発表し、報告書にまとめます。

1. 県内での研修

①学習会

沖縄戦やアジアの戦争の流れ、広島原爆、南風原の沖縄戦、学童疎開の実態などについて、資料や映像を用いながら学習します。学童疎開の体験者からもお話をうかがう予定です。また、ハンセン病などの人権問題についても事前学習を行います。

宮崎県美々津市から講師(常盤氏)を招いての講話の様子



②戦跡めぐり

町内、町外の戦跡をめぐり、沖縄戦について体験を通じた学習を行います。



南風原文化センターにて飯上げ体験



読谷村 チビチリガマ

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

③人権学習

名護市の屋我地にある国立療養所沖縄愛楽園を訪ね、交流会館の展示室見学、納骨堂や面会室などの敷地内の見学、学芸員からの解説を聞くなどして、ハンセン病の差別、人権問題について学習します。



愛楽園敷地内 (左)納骨堂前、(右)面会室にて 学芸員の解説を聞く様子

2. 県外研修

令和7年度は、3泊4日の日程で広島県・京都府を訪れ、広島原爆やホロコースト、差別問題などについて学習します。資料館見学や戦跡めぐりなどを行い、平和や人権についての学習を深めます。

※写真は令和6年度の県外研修の様子

(令和6年度は南風原の児童が学童疎開をした1944年から80年の節目であるため、学童疎開先であった宮崎県を訪れて当時の状況や現地の方々との交流を行いました。)



初日、鹿児島までの船内にて対馬丸沈没地点での慰霊



宮崎の戦中・戦後の様子について体験者の講話

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育



南風原学童疎開記念の碑



波島地区沖縄県人会の方々との交流

3. 報告会・報告書刊行

学習したことを仲間で協力してまとめ、家族や学校の先生方、関係者に報告発表します。
また、研修を通して考えたことや感じたことを作文にまとめ、報告書として刊行します。

経費内訳	平和学習ガイド、講師謝礼金等	8万円
	引率旅費(職員特別旅費等)	15万円
	施設使用料	1万円
	補助金(児童8人旅費等)	106万円
	補助金(引率教諭旅費等)	14万円

国際交流事業(育英会)

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

○国際交流事業(育英会)

862万円

町内の青少年リーダーを海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、現地のミドルスクール(中学校)体験入学やホームステイを行っています。この事業では、国際的視野を広めるとともに、ホームステイ先の家族らとの交流を深め、国際時代に柔軟に対応できる青少年を育てることを目的としています。訪問先はアメリカ合衆国ハワイ州と町の友好都市であるカナダ国レスブリッジ市で交互に行っています。令和6年度はカナダ国レスブリッジ市へ中学生(10名)を派遣。今年度はアメリカ合衆国ハワイ州へ中学生(10名)を派遣します。

主な経費

国際交流事業に参加する生徒への育英会補助金
862万円

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

1. 事前研修

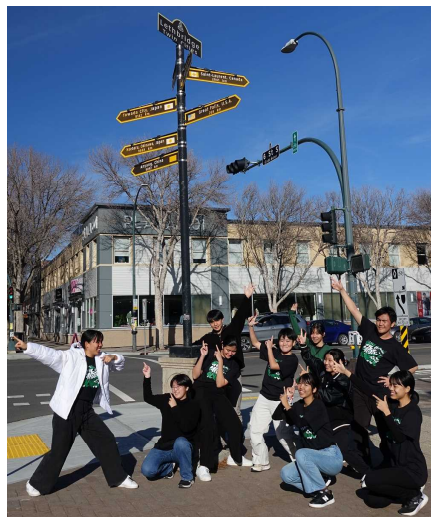
訪問国の教育・文化・歴史等について勉強します。また、南風原町についての調べ学習、英会話レッスン、および現地で発表する踊りなどを事前研修にて練習します。

2. 本研修

訪問先では、教育・文化・産業施設等の現地視察及びミドルスクール(公立中学校)への体験学習を通して同世代の子と交流をしています。またホームステイも実施しています。

3. 事後研修

本研修で学んだ事を日本語と英語で報告書を作成します。また、育英会長・保護者・学校関係者・事前研修講師等に向けて報告会も開催しています。



南風原町の距離と方角を示す標識



現地県人会との交流会



ミドルスクールでの体験学習

放課後子ども教室推進事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

○放課後子ども教室推進事業

502万円

各小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して行われます。地域の方々が子どもたちと一緒に勉強やスポーツ・文化活動を行うことで、地域住民との交流の場を創り、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

主な経費

謝礼金(コーディネーター、協働活動サポーター、講師) 490万円

消耗品費 4万円 保険料等 8万円

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育



映画鑑賞会



ハロウィンイベント

地域学校協働活動推進事業

(担当部署: 教育部 生涯学習文化課)

○地域学校協働活動推進事業

762万円

地域の学校支援ボランティアが、町内各小・中学校の依頼に応じた1学校支援活動を展開することで、子どもたちは多様な体験ができ、学校教育の充実を図ります。また、地域住民が自らの経験や知識を子どもたちの教育に生かし、地域のきずなづくりにつなげることで、地域の教育力向上を図ります。

主な経費

謝礼金(実行委員、コーディネーター(6名)) 700万円

ボランティア懇親会費等 23万円 印刷製本費 18万円 役務費等 21万円



学習支援の様子



クラブ活動支援の様子

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

はえばる大学運営事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

○はえばる大学運営事業

13万円

生涯学習の一環として広く仲間づくりを行いながら、自主的な学習活動の支援を行うことを目的に大学を設置しております。南風原町の歴史・文化・教育や町づくりなどを学習しながら交流を深めます。

主な経費

謝礼金(講師、運転手)	10万円
消耗品費	2万円
燃料費	1万円



教育cafe
(南風原中央公民館)

陸軍病院壕公開活用事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

○陸軍病院壕公開活用事業

536万円

陸軍病院壕公開活用事業は、見学者の受付や日々の安全確認を行う管理人の報酬費、壕内の安全管理のための委託料など、陸軍病院壕の公開活用のための予算です。

南風原町は、平成2(1990)年に太平洋戦争(沖縄戦)時の“負の遺産”である「沖縄陸軍病院南風原壕」を全国に先駆けて町の文化財(史跡)に指定しました。戦争体験者が減少していく中、沖縄戦の記憶を後世に伝える「生き証人」としての壕を保存していくことがその目的でした。

文化財指定の後、平成19(2007)年には20号壕の一般公開を開始しました。ガイドの案内で壕内に入り、そこで起きた出来事を聞き、暗闇や空気を感じる体験を通して、戦争の悲惨さや愚かさ、平和を創造することの大切さを学ぶことができる場として活用しています。

今年で戦後80年を迎え、壕は徐々に風化が進行しています。今後はより一層大切に保存・活用を進める必要があります。

主な経費

1. 報酬 304万円
・見学者の受付や壕内に設置されている観測機器の計測、ガイドのスケジュール調整等を行う管理人の報酬などです。
2. 職員手当等および旅費 124万円
・管理人の期末手当および交通費などです。
3. 需用費 64万円
・見学者に配布するリーフレット作成費や設備の修繕料、電気料金などです。

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

4. 役務費 1万円
・見学者の安全を確保するための保険料です。
5. 委託料および使用料 43万円
・壕内の臭気再現および安全を管理するための委託料および機材の使用料です。



展示資料確認の様子



平和ガイド養成講座(第13期)

公民館活動の充実事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

○公民館活動の充実事業

4, 417万円

生涯学習の活動拠点として公民館学級講座、サークル活動及び各種社会教育団体等の充実発展を目指して事業を展開いたします。

また、黄金ホールをフルに活用し、保育園・幼稚園から高校・大学等の教育活動の発表会や音楽・芸能・舞踊などの発表の場として、利用者・来場者の期待に応える施設作りを目指して参ります。

主な経費

公民館長、管理事務員、管理人(2名)、清掃員(2名)、公民館運営審議委員報酬・手当等	1, 398万円
光熱水費	818万円
冷房管理委託料など施設の管理委託費	1, 989万円
他、コピー機使用料など事務経費	212万円

地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

公民館講座事業

(担当部署:教育部 生涯学習文化課)

○公民館講座事業

100万円

令和6年度は8講座を開催し、64人が受講しました。幅広い年齢層に対応できるよう毎年趣向をこらして開催しております。また、各自治公民館でも出前講座を12回開催。

また「生涯学習・公民館まつり」を行い、自治公民館の実践発表や、公民館サークル会員が日頃の練習の成果を発表しています。

主な経費

公民館講座講師謝礼金

100万円

♪ 令和6年度の公民館講座 ♪

身近に楽しく「米粉パン」、バルーンアート、スマホ講座(2回)、体に優しい発酵おうちごはん、貯筋体操教室、手作り折り紙雛人形、アメリカンフラワーの魅力(全8講座)



出前講座(民舞)



身近に楽しく「米粉パン」



バルーンアート(親子講座)

個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

学校給食用材料に係る経費

(担当部署:教育部 教育総務課)

○学校給食用材料に係る経費

3億5,537万円

学校給食共同調理場では、総合的な安全管理を基本に、常に児童、生徒等に安全・安心でおいしい給食を提供するためにできる限り県内産、町内産を利用するように努めています。

平成25年度から開始した幼稚園給食(5歳児)に続いて平成28年度には、4歳児の給食も開始し令和6年5月1日時点の食数は5,755食となっています。一食あたりの平均栄養基準は、幼児490kcal、小学校650kcal、中学校830kcalになっています。



給食センターの見学



人気の献立メニューおきなわそば

学校給食費は、令和7年度に改訂を行い、幼稚園児月額3,800円(一人当たり、一食262円)、小学生月額5,400円(一人当たり、一食297円)、中学生月額6,000円(一人当たり、一食330円)の11カ月分の給食費を徴収しますが、令和7年度は、物価高騰重点支援地方創生交付金を活用し、値上げ分の幼稚園児月額600円、小学生月額900円の免除を行い、また、中学生は沖縄県より半額補助を受けて月額3,000円の免除となります。

区分	改訂前月額	令和7年度月額	免除月額	保護者負担額
幼稚園児	3,200円	3,800円	600円	3,200円
小学生	4,500円	5,400円	900円	4,500円
中学生	5,000円	6,000円	3,000円	3,000円

調理場施設維持管理事業

(担当部署:教育部 教育総務課)

○調理場施設維持管理事業

2,251万円

園児・児童・生徒のみなさんからの給食費は、すべて給食の材料費として使っています。給食を作るためには調理場の電気代、水道料金、ガス代、食器を洗う洗剤等消耗品代などの経費が必要になります。また、平成27年度からは、調理員等の通常検便に加えてノロウイルスの検査も実施し

個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

て食中毒等の重大事故を発生しないようさらに衛生安全も徹底しています。

主な経費	ボイラー用等燃料代	687万円
	光熱水費	1,071万円
	その他(消耗品等)	493万円

学校給食共同調理場にはこんな機械があります

ガススチームコンベクションオーブン:スチームやオーブン等で調理する機械です。

食缶類洗浄機 : 2本のレーンで、高さの異なる食缶などを超高压水で洗浄します。

食器類洗浄機 : 食器の洗浄、整理まで自動処理します。スプーンなども自動洗浄します。

消毒保管庫 : 食器や食缶の消毒効果を高めるため、蒸気で温熱殺菌した後保管します。

高速ミキサー : 液体の攪拌・混合作業、タレ作りなどの機械。

自動フライヤー : 揚げ物によって、油温を調節し、美味しく調理することができます。



釜から食缶への配缶作業



調理後の釜の洗浄作業

個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

就学奨励事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

○就学奨励事業

1億2,463万円

経済的な理由等で児童生徒の学校生活が円滑に行われないといったことがないよう、対象となる小・中学校の児童生徒の保護者に学用品費、修学旅行費、学校給食費などの援助を行っております。この事業には国、県からの補助金も含まれており、内訳は下記に示したとおりとなっております。

主な経費

要保護準要保護児童生徒援助費	1億2,239万円
特別支援教育就学奨励費	224万円

【内訳】

国県補助金	123万円
町負担分	1億2,340万円



幼稚園就園援助事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

○幼稚園就園援助事業

240万円

町立幼稚園に通う園児の幼稚園生活が円滑に行われるように、生活保護世帯及びその援助の対象となる園児の保護者に対し、預かり保育にかかるおやつ代を町が援助を行います。

主な経費

幼稚園就園援助費	240万円
----------	-------



個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

幼稚園にかかる経費(各幼稚園経費除く)

(担当部署:教育部 学校教育課)

○幼稚園全体にかかる経費

1億8,941万円

南風原町では、平成28年度より各幼稚園で4歳児保育を開始し、2年保育を実施しています。

主な経費

園長・学校医等に係る費用 1,907万円

幼稚園教諭、事務等会計年度任用職員に係る費用
7,202万円



○預かり保育事業

幼稚園の教育時間終了後、共働き等の保護者ニーズに応え預かり保育を実施しています。予算としては、会計年度任用職員等の賃金を経費を計上しています。

土曜預かりについては、2園合同で行っています。

また、預かり保育は、平成27年度より子ども・子育て交付金の「一時預かり事業」となり、国から一部補助金を受けています。

主な経費

預かり保育会計年度任用職員報酬等 9,832万円

幼稚園にかかる経費

(担当部署:教育部 学校教育課)

○各幼稚園にかかる経費

2,439万円

町内4幼稚園の園児たちが安心して幼稚園での生活が送れるように施設の維持や教材費にかかる経費となっています。建物の修繕費、電気・水道などの光熱費、行事で使う事務用品代を支出しています。

主な経費

南風原幼稚園	641万円	北丘幼稚園	615万円
津嘉山幼稚園	693万円	翔南幼稚園	490万円



個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

英会話教育の充実

(担当部署:教育部 学校教育課)

2,946万円

○英会話教育の充実

1. 中学校での英会話教育

国際理解教育の一環として、英語を母国語とする外国人とのコミュニケーションにより英語に親しみ、また国際社会で使える英語を習得させることを目的として、南風原中学校、南星中学校にそれぞれ1名の外国人英語指導助手(ALT)を配置します。

主な経費

外国人英語指導助手報酬(諸手当含む) 965万円

2. 小学校での英会話教育

町では、いろいろな国を学ぶための学習のひとつとして、英語教育活動を行い、児童が英語に触れたり、外国の文化に慣れ親しむ体験活動を行っています。そのために、町内にある4つの小学校に、英語に関する専門的な知識を持った6名の日本人の英語指導助手(JTE)を配置します。

主な経費

小学校英語指導助手報酬(諸手当含む) 1,981万円



個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

学校教育事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

○学校教育事業

4,705万円

学校教育課が管理する小・中学校や幼稚園に関する経費で、町内全ての学校で共通して必要な事に使います。例えば、小中学校のパソコンのサーバーの保守管理委託料やPCソフトライセンス使用料などの費用を支出しています。

主な経費

学校情報推進員報酬	520万円	町学力向上推進委員会補助金	149万円
パソコン保守管理委託料	539万円	島尻地区教育研究所負担金	477万円
サーバー使用料	21万円	部活動等外部指導員報酬	1,100万円
ライセンス使用料	106万円	その他の経費	1,793万円



令和6年度教育長表彰の様子

個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

特別支援教育支援員(ヘルパー)配置事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

○特別支援教育支援員配置事業

1億5,241万円

発達障害や肢体不自由などの障がいを持った幼児・児童・生徒が町内の幼稚園や小学校、中学校に通園・通学しています。障がい児一人ひとりの教育を保障し、自立して生きていくことのできる力を育むことが重要となっています。

その幼児・児童・生徒達が安心・安全に学校生活を送ることができるよう支援するため、特別支援教育支援員を配置し、始業時から下校時までの間を支援しています。令和7年度は、幼稚園に30名、小学校に24名、中学校に6名を派遣します。

主な経費 (内 訳)

幼稚園 6,635万円

小学校 6,853万円

中学校 1,753万円



学力調査事業

(担当部局:教育部 学校教育課)

○学力調査事業

1,400万円

1. 事業の目的

学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げる。

2. 事業内容

①標準学力調査 小学校4校 2年:国語・算数 3年:国語・算数

②学力調査の実施 中学校2校 3年:国語・数学・理科・社会・英語

③リーディングスキルテストの実施 小学校4校 5年～6年、中学校2校 1年～2年

④達成度確認テストの実施 中学校2校 1年～3年 国語・数学・理科・社会・英語

⑤先進地視察研修

3. 経費 1,400万円

① 学力調査委託料 570万円

(1) 標準学力調査(小学2年、小額3年) 86万円

(2) 学力調査(中学3年) 80万円

個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

- (3) リーディングスキルテスト(小学6年、中学1～2年、教員) 404万円
② 達成度確認テスト委託料(中学校) 687万円
③ 先進地視察研修に係る経費 143万円



学校ICT推進事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

○学校ICT推進事業

949万円

学校においてパソコン等のICT機器を充実させ、機器を活用した授業の機会をつくるなど、魅力ある授業を行うことで、学力向上を図ります。

令和7年度は、学校ICT支援員1名の委託及び教科書の改訂に伴うデジタル教科書の整備を行います。

主な経費

- | | |
|--------------|-------|
| 1. ICT支援員委託料 | 787万円 |
| ・小学校費 | 525万円 |
| ・中学校費 | 262万円 |

個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

2. 備品購入費 162万円

指導者用デジタル教科書の購入

- ・小学校費 103万円
- ・中学校費 59万円



R6年度導入した液晶モニター型電子黒板

小学校(学校管理費・教育振興費)

(担当部署:教育部 学校教育課)

○小学校(学校管理費・教育振興費)

1億2,354万円

町内にある4小学校(南風原小学校、津嘉山小学校、北丘小学校、翔南小学校)の子どもたちが安心して学校生活を送れるように、学校設備の維持・管理及び各教科やクラブ活動などにかかる経費となっています。学校管理費として、学校で使う電気・ガス・水道の光熱水費、学校施設の修理などの費用に使われます。また教育振興費として、各教科で使う教材や備品などの費用として使われ、例えば体育で使うマットや図工で使う絵画作品乾燥棚などを購入する経費となっています。

南風原小学校にかかる経費 3,144万円
津嘉山小学校にかかる経費 3,585万円

北丘小学校にかかる経費 3,063万円
翔南小学校にかかる経費 2,562万円



令和6年度に購入した清掃用具庫、机、椅子(学校管理費)とロイター板(教育振興費)

個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

中学校(学校管理費・教育振興費)

(担当部署:教育部 学校教育課)

○中学校(学校管理費・教育振興費)

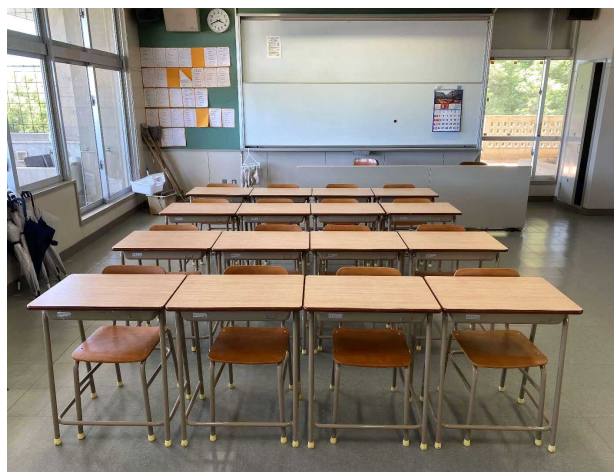
6,594万円

町内にある2中学校(南風原中学校、南星中学校)の生徒たちが安心して学校生活が送れるように、学校設備の維持・管理及び各教科の教材などにかかる経費となっています。

学校管理費として、学校で使う電気・ガス・水道の光熱水費の費用、学校施設の修理などの費用に使われます。また教育振興費として、各教科で使う教材や備品などの費用として使われ、例えば体育で使うロイター板やプール用コースロープなどを購入する経費となっています。また、各種大会で優秀な成績を納めた生徒たちを県大会や九州大会などへ派遣する費用も支出しています。

南風原中学校にかかる経費 3,459万円

南星中学校にかかる経費 3,135万円



令和6年度に購入した生徒用机、椅子(学校管理費)とマット(教育振興費)

学習支援員配置事業

(担当部署:教育部 学校教育課)

○学習支援員配置事業

4,238万円

町立小・中学校に学習支援員を2名ずつ(計12名)配置し、個別に学習支援を必要とする児童生徒に対して、同支援員を活用し基礎学力を定着させます。また、教育相談事業においても、町立中学校(2校)へ適応教室指導員、自立支援教室指導員(各1名ずつ)の学習支援員を配置しています。

主な経費

小学校 2,812万円

中学校 1,426万円



個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

小学校照明LED化事業

(担当部署:教育部 教育総務課)

○小学校照明LED化事業

1, 100万円

南風原町立小学校の各体育館は、災害時の避難箇所に指定されているが、現在設置されているハロゲンタイプの照明器具は、災害時の避難所としては不向きなものであることから、避難所として有効な調光式LED照明に変更する事で避難生活環境の質の向上を計る目的の事業です。また、照明をLED化することで低炭素化社会の実現にも貢献します。令和5年度に翔南小学校体育館、令和6年度に南風原小学校体育館を整備し、令和7年度は津嘉山小学校体育館を整備していきます。

主な経費

津嘉山小学校体育館LED工事費 1, 100万円

事業計画

R5年度 翔南小学校体育館

R6年度 南風原小学校体育館

R7年度 津嘉山小学校体育館

【財源内訳】

町債(町の借金) 1, 100万円

◇津嘉山小学校体育館

